

あなたの ギカイだより

No.146



2025. 1. 17

CONTENTS 12月定例会

- P 2 … 特集 ひと☆人 自らの地域は自らが守る
- P 3 … 自助・共助・公助の連携を
- P 4 … 議会でこんなことを決めました
- P 5 … 議員の知見と活動の集約



吉岡町消防団第4分団

佐復 加奈 さん

特集 ひと☆人

自らの地域は自らが守る

吉岡町消防団 第4分団

さ また か な
佐 復 加 奈 さん



インタビュアーの宮内正晴議員と

令和6年11月16日に渋川広域消防本部で、佐復さんへの一日消防長の委嘱式がありました。その後、佐復さんは一日消防長としてジョイホンパーク吉岡で、秋の火災予防の呼びかけと啓発物の配布を行いました。



—今回のような経緯で一日消防長になられたのですか。

佐復さん 防災に興味を持ち、救急救命を学んだことから、お世話になっている地域に恩返しをしたいという思いで、消防団に入団しました。今回一日消防長を務めた経緯は、何事にも挑戦したい、誰かのためになることをやりたいと思ったためです。

—女性消防団員として、どのようなお仕事をされていますか。

佐復さん 月2回の地域の火災予防の巡回、道祖神祭りの延焼防止・見守り、消防団員基礎教育の受講、水利査察、機関員教養の受講、実践型火災対応訓練、高齢者・障害者の援護システムづくりである「よしおか支え愛マップづくり」などの防災活動を行っています。

—消防団員になって、良かったと思うことや大変だと思ったことはありますか。

佐復さん 良かったことは、地域との関わりがで

き、普通に生活していたら出会えなかった人々と会話したり、さまざまな消防活動に参加できたことです。また、初参加の消防学校での基礎教育訓練で、消防団の歴史や意義、災害時の活動について、団員としての心得を学ぶことができました。水利査察でホースを運んだり、防火水槽のふたの開閉をする力仕事は、男性にはかなわないと思うところもありますが、積極的に参加していきたいと思います。

—町議会や町政に望むことはありますか。

佐復さん 消防団員が活躍・増えるよう周知、設備などの改善を要望します。

—町民の皆さまへ一言お願いします。

佐復さん 現在、吉岡町に女性団員は3人います。それぞれ仕事・家事・子育てをしながら活動に参加しています。18歳以上で吉岡町に居住・勤務している人なら入団可能です。群馬県では女性団員は増加傾向にありますが、消防団員全体としては減少傾向になっております。地域社会のために「自らの地域は自らが守る」という消防活動を私たちと一緒にしませんか。



一日消防長としての啓発活動中

皆さんに聴きました 自助・共助・公助の連携を

議会広報常任委員が、町の課題について、関係する住民の皆さんにインタビューして、意見や思いを聴きます。今回は11月16日にジョイホンパーク吉岡で行われた秋の火災予防の呼びかけと、17日に行われた吉岡町総合防災訓練に参加・見学していた人に、火災予防や災害対策、そして共助について聴きました。

私たちが聴きました



みやうち まさはる
宮内 正晴 議員



はるやま かずひさ
春山 和久 議員



いろいろな関係者が集まって防災訓練を行うことは、連携を図るため良いことです。

まだ、吉岡町は防災システムが弱いと思いますので、近隣の自治体と防災協定を結ぶなりして防災システムを強化してください。

女性団員が増えてうれしい。大規模店舗で災害に遭った場合の予防策に力を入れてほしいです。

消防署・消防団は、昼夜問わず活動することがあります。防災・防火意識、助け合いの心を常に持ち、安心安全な町づくりに協力をお願いします。

家で防災の備えがない。子どもたちをどのように守るか不安。避難グッズの見直しをしたいです。



災害が少ない群馬ですが、ひとごとではなく避難グッズを備えてほしいです。避難場所の確認を行ってほしいです。



防災のことは夫に任せているので、自分でも見直したいです。家はオール電化なので安心ですが、災害時に対応できるようにしたいです。起震車で震度7を経験しましたが、何をしていたのか分かりませんでした。

近年、全国各地で甚大な災害がニュースになり、備えの必要性を感じますが、時間の経過とともに危機意識は薄れてしまいます。災害時などの対応に「自助」・「共助」、公的機関による「公助」を知っている人が多いと思いますが、その連携が不可欠です。

住宅火災の原因は「電気器具」・「たばこ」・「ストーブ」・「コンロ」が主なもので、「放火」もその1つに入ります。ご自身や大切な人の命を守るため、防火・防災意識を持続しましょう。

総合防災訓練は災害時に役立つので、もっと住民に周知したほうがよいと思います。

防災グッズに何をそろえていいのかわかりません。子どものグッズをあまり見かけないので不安です。

令和6年第4回定例会

議会でこんなことを決めました

令和6年第4回定例会が開会されました。会期は12月2日から12日までの11日間でした。承認1件、議案10件、諮問1件が提案され、いずれも賛成多数で可決しました。また、請願1件を趣旨採択としました。



物産館も振興公社の指定管理に



温泉の売上額は前年より増加

吉岡町振興公社への 指定管理としました

町が所有する施設である、道の駅よしおか温泉・リバートピア吉岡・緑地運動公園について、引き続き株式会社吉岡町振興公社への指定管理にすることを決

めました。指定管理の期間は、令和7年4月から5年間となります。また、今回から物産館かざぐるまを、道の駅の一部として指定管理することになりました。

人権擁護委員の 推薦に答申しました

人権擁護委員に今成敦子さん（大久保）を推薦する町長の諮問に、議会は全会一致で適任と認め答申しました。

人権擁護委員は、人権相談や人権思想の啓発活動などを行います。任期は3年です。



いまなり あつこ
今成 敦子さん
(大久保)

第4回定例会 賛否一覽



請願を趣旨採択としました

令和6年12月10日に文教厚生常任委員会が開会され、議長より付託された請願の審査について、賛成多数で趣旨採択としました。

	件名・要旨	提出者・紹介者	委員会結果	結果
請願 第3号	ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める請願 …全てのケア労働者の賃上げと配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員することなどを求める意見書について、国への提出を求めるもの。	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦 匠人 紹介者 小池 春雄	趣旨採択 (賛成多数)	趣旨採択 (賛成多数)

趣旨採択とは、請願の趣旨は妥当であるが、実現性の面で確信が持てない場合に採られる議決方法です。

一般質問

議員の知見と活動の集約

一般質問は、町政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し見解を求めるものです。
議員の知見と活動の集約であり、議会活動の「花形」とも言われています。

吉岡町議会では、質問・答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。



▲本会議の様子を生中継
録画でも配信



■富岡 大志 議員……………6ページ

1. 神奈川県開成町との積極的交流を
2. バイパス間接続 渋川市と協議は

■廣嶋 隆 議員……………12ページ

1. 町の最終処分場の基本方針は
2. 進入路の道路整備は

■秋山 光浩 議員……………7ページ

1. 群馬大学ベンチャーと包括協定を
2. 農産物の吉岡ブランドを

■春山 和久 議員……………13ページ

1. 天神東公園 どう進めるか

■小林 静弥 議員……………8ページ

1. 「ひばりの家」での健康診断は
2. 「よしおか支え愛マップづくり」の今後は

■富岡 栄一 議員……………13ページ

1. 産業団地事業の今後は

■藤多 ゆかり 議員……………9ページ

1. 給食で地産地消の推進を

■飯塚 憲治 議員……………14ページ

1. 駒寄川河川改修の内容と工期は
2. 吉岡バイパス延伸の計画は
3. 業務執行スピードの向上策は

■宮内 正晴 議員……………9ページ

1. 県道バイパス周辺に公園整備を

■坂田 一広 議員……………15ページ

1. 町の高齢者福祉の課題は
2. 公共施設のバリアフリー化は

■飯島 衛 議員……………10ページ

1. 高齢者世帯への防犯対策支援を
2. ついたて式看板の効率的な利用を

■小池 春雄 議員……………16ページ

1. 学校給食で地産地消を
2. 食の安全と農業者育成を

■大井 俊一 議員……………11ページ

1. オピニオンリーダーを増やす施策は
2. ふるさと祭りアンケートは

神奈川県開成町との積極的交流を



とみおか たいし 議員
富岡 大志



録画映像は
こちらをCHECK

答 さまざまな面で交流を深めたい

問 令和6年5月に議会広報常任委員会が神奈川県開成町へ視察に行ったことがきっかけとなり、同年9月に開成町長が吉岡町を訪問された。開成町長のSNSには、吉岡町と交流を深めさせていただきたいという投稿があったが、訪問の際にどのような話があったのか。開成町と吉岡町は、両町とも自立持続可能性自治体であったり、パークゴルフ場があったりと、共通点が多くあり、行政におけるノウハウや課題の共有が期待できる。ぜひ積極的に交流を進めてほしいと考えるが。

答

交流のきっかけをつくっていただいた議会広報常任委員会の皆さまに感謝している。令和6年9月に開成町の山神町長が来町され、本町と※災害時相互応援協定を締結したいとの申し出があった。本町としても遠隔地自治体との災害時の協定締結は必要であると考えていたことから快諾。具体的に話を進める方向で意見が一致した。令和6年12月中に協定を締結する方向で現在準備を進めている。本町と開成町は、指摘のとおり共通点を多く持つているので、今回の協定締結を皮切りに、さまざまな面で交流を深めていきたいと考えている。

ミニ解説

※災害時相互応援協定
地方自治体や関連機関が災害時に人的・物的支援を相互に提供することを目的として締結する協定。議会閉会後の令和6年12月16日に神奈川県開成町と締結。本町にとって県外自治体と初の締結となった。

バイパス間接続 渋川市と協議は 調整の場設置へ向け 協議している

問

令和6年度内に策定・公表を予定している次期県土整備プランに、県道前橋伊香保線吉岡バイパスについて、宮東交差点より北の「仮称杉下交差点」までの1・3キロメートル区間が計画期間内に着手する事業として位置付けられました。遅くとも2029年度までには着手されることになり、国道17号前橋渋川バイパスとの接続となれば、利便性向上や地域の活性化



12月16日に災害時相互応援協定を締結

答

指摘のとおり、バイパス間を結ぶことは、町づくりや物流・自動車交通の観点からも非常に重要で、その実現には渋川市との連携が必要不可欠。現在、群馬県・渋川市・吉岡町の3者で検討・調整の場を設置する方向で、関係者と協議をしている。



バイパス間の接続が地域を活性化



あきやま みつひろ
秋山 光浩 議員



録画映像は
こちらをCHECK

群馬大学ベンチャーと 包括協定を

答 希望が持てる申し出と考える

問 私が群馬大学の大学院生に農産物作りを教え

たことがきっかけになり、群馬大学発ベンチャー企業から、吉岡町と産学官連携の包括協定を締結したいという申し出を受けた。このことを町側はどう考えているか。

答 産学官連携の取り組みにより、これまでにな

い新しい農業への可能性や、農業の持続可能な発展など、希望が持てる申し出であると考えている。

問 群馬大学が研究を重ねてきた土壌改良剤（肥料）を使った農産物選定と栽培を行い、地域ブランドを確立したいという考えも

あるが、このことについてはどう考えるか。

答 農業の衰退が否めない状況下にある中、吉岡町に注目していただき、さまざまな提案をしていただ

けることは、非常にありがたいことだと考えている。

問 廃棄されてしまう食材や食品・廃菌床・米ぬ

かなどにバクテリアを加え、群馬大学が考案した発酵機を使用してこの肥料を作る訳だが、この発酵機を吉岡町内に設置できないかという話をもらっている。この件に関してはどんな見解を持っているか。



群馬大学が考案した発酵機

答 正式な申し出があった場合は、関係各課と調整し検討したい。

農産物の吉岡ブランドを

消費者イメージ向上にもつながる

問 町と群馬大学が協力してこの土壌改良剤を作

り、農産物の吉岡ブランドを確立し、ふるさと納税返礼品を充実させ、さらに循環型の農業と食の連鎖につなげることにしてはどのようなに考えるか。

答 循環型農業は、自然環境への負荷を軽減する

農業であり、廃棄物を資源として再利用することで持続可能性が高まり、安定した生産ができると考えている。食の安全安心やSDGsへの貢献にもなり、消費者へのイメージ向上にもつながると考えている。

問 数年後、給食センターが新しくなる。今回提案した土壌改良剤を使用し

て生産した安全安心の米・野菜が、町内産としてそろそろようになつたら、最近はまだ聞かなくなっている「地産地消」という単語や、食育の観点からも子どもたちに提供したいと考えるが。

答 地産地消を学校給食に取り入れることは、食

の安全を始めとした健全な成長につながる非常に意義のある取り組みである。提供機会の検討は、食育の観点からも大変意義深い。



発酵機の操作盤は極めてシンプル

「ひばりの家」での健康診断は



こばやし しずや
小林 静弥 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 校医の医院で無料受診できる



子どもが楽しくいられることが何より大切
「ひばりの家」と指導員の先生

問 不登校の児童・生徒が
年々増加傾向にあると
いうことで、令和6年7月
に開設した「ひばりの家」
について、児童・生徒の健
康面を考えたとき、健康チ
ェックとしての定期健診も
必要になるかと思うが。

答 「ひばりの家」に通所
している児童・生徒に
限らず、登校しない日が多
い児童・生徒については、
校医のクリニックまで出向
けば無料で健康診断を受け
ることができる。受診案内
について学校から保護者に
確実に伝え、毎年受診でき
るようにしたい。

問 駒寄スマートIC利用
客を、吉岡町の観光に
つなげるような取り組み
を。

答 駒寄パーキングエリア
や近隣観光案内所など
へパンフレット配置のほ
か、町内の観光資源を効果
的に結びつけられるよう
な、情報発信施策の検討を
図りたい。

問 吉岡町総合防災訓練
は、幅広い年齢層の参
加が大切と考えるが。

答 訓練参加は自治会役員
中心であり、年齢層が
高めだった。今後は、吉中
ボランティアの活用、自治

会にも幅広い年代の参加を
呼びかけることを考えてい
る。

**「よしおか支え愛マッ
プづくり」の今後は
各自治会へ広め継続
していきたい**

問 小倉自治会の「よしお
か支え愛マップづく
り」が今回2回目。各自治
会の現状と今後は。

答 小倉自治会をモデル地
区として、本年度は9
月下旬に北下自治会と南下
自治会が、初めての「よし
おか支え愛マップづくり」
を1つの会場で合同実施。

本年度中にと2つの自治
会で実施し、来年度以降は、
1年に4自治会ずつの実施
を目指し広めていきたい。
定期的な更新作業も重要な
ので、継続して取り組みた
い。

問 教育現場での防災訓練
は。

答 町内の各学校とも避難
訓練として年間3回、

火災・地震・不審者想定で
実施。避難訓練では、消防
署員から評価や、防災の重
要性について講話もいただ
いた。

問 防災や防犯の面で、今
後スマートフォンを利
用した高齢者支援を。町と
地域自治会とタイアップし
てスマホ教室を開くという
方法もあるかと考えるが。

答 スマートフォンを悪用
した、さまざまな高齢
者被害の報告もあるので、
対策面も考慮し、事業の
内容を検討できればと考え
る。



マップ作りを通して地域のつながりを再確認
小倉自治会「よしおか支え愛マップづくり」



ふじた
藤多 ゆかり 議員



録画映像は
こちらをCHECK

給食で地産地消の推進を

答 さらなる地産地消を推進

- 問** 給食における地産地消の推進では、地元で生産された食材を使用することが重要だと考えるが。
- 答** 給食の食材に吉岡町産を多く取り入れるよう努める。今後関係各課・機関とも協議し、さらなる地産地消を推進していく。
- 問** 高齢者など交通弱者の足の確保は。
- 答** まちづくりと移動手段が一体となった都市計画マスタープランとして策定予定。
- 問** リバートピア吉岡の2時間券を復活し、500円での利用



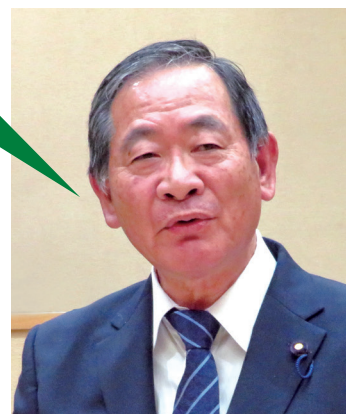
地元の食材の使用が重要

- を提案するが。
- 答** 屋台骨となる指定管理者の経営状況の推移、先般の料金改定による経過、それらを考え検討。
- 問** 吉岡中体育館のエアコン設置を。
- 答** 補助金利用の調査研究を行い、設備方式や断熱性の検証を行っていききたい。
- 問** こども家庭センターの設置を。
- 答** すでに子育て世代包括支援センターが設置されているが、まだ取り組みは道半ばのため、検討したい。

県道バイパス周辺に公園整備を

答 配置計画を検討する

- 問** 公園整備を。
- 答** 身近な公園については、町民から強い要望もあり、公園空白地を把握し、配置計画の検討を行う。
- 問** 資源ごみの回収については、町民意識を高めるためや、育成会運営費の補助のために、補助金の増額を行うべきでは。
- 答** 資源ごみ回収には自治会や育成会にご協力をいただいている。育成会の貴重な運営費のことも承知している。現状は育成会な



みやうち まさはる
宮内 正晴 議員



録画映像は
こちらをCHECK



バイパス周辺に公園整備を

- どの団体に頼るのではなく、町による回収量を増やしていきたい。
- 問** ヤングケアラーのアンケート調査は公開可能か。
- 答** 調査は全体的な傾向をつかむために行い、非公開となっている。学校ではヤングケアラーの傾向があり、そうした児童・生徒の一人一人の状況に応じた指導をしている。
- 問** 改正道交法についての教育指導は。
- 答** 自転車の交通ルールのリーフレットを生徒に配布し、啓発を行っている。

高齢者世帯への 防犯対策支援を



いいじま まもる
飯島 衛 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 「防犯ハンドブック」などを活用

- 問** 高齢者世帯に対する防犯対策の強化支援のために、相談体制の構築や防犯グッズなどの設置費用に対して補助することはできないか。
- 答** 防犯グッズの設置費用補助は、厳しい財政状況から予定はしていないが、「防犯ハンドブック」などを活用する取り組みを考えたい。
- 問** 闇バイトという悪質で凶悪な強盗事件が多発している。犯罪抑止や摘発につながる手段として、防犯カメラの増設が必要と思うが。
- 答** 既設防犯カメラの更新も優先して進めなが

- ら、必要に応じて新規設置も検討。
- 問** 吉岡バイパスの延伸について、渋川市などの協議は怎么样了っているのか。
- 答** 現在、群馬県・渋川市・吉岡町の3者で検討・調整の場を設置する方向で、関係者と協議をしている。
- 問** 県道南新井前橋線の陣場交差点の信号機に右折信号の設置を令和5年も要望しているが、見込みは。
- 答** 今後、地元からの要望があれば県公安委員会に上申したい。
- 問** ついたて式看板の効率的な利用を
- 答** 臨時的設置は検討の余地がある
- 問** ついたて式の注意喚起の看板を、効率的に設置してはどうか。
- 答** 短期的・臨時的かつ緊急的に必要な箇所への看板の設置は、検討の余地

- があると考えている。
- 問** 助産師による「いのちの大切さを伝える出前講座」の実施に向けた検討は。
- 答** コロナの流行により中断していたが、駒寄小では、令和4年から再開している。明治小では、コロナ以降実施していないが、再開してほしい講座と捉えている。
- 問** 文化センターのトイレ洋式化の計画は。
- 答** 本年度、図書館側の女子トイレの洋式化を行った。残り15基であるが、順次洋式化を進めたい。
- 問** 町内に住んでいない人の空き家の管理はどう



ついたて式の看板の活用を



空き家の管理が課題となっている

- なっているのか。
- 答** 410戸の空き家があり、所有者が管理することになっている。
- 問** 空き家の管理などを、ふるさと納税の返礼品にしてはどうか。
- 答** ふるさと納税を活用した対策は、ほとんど活用されていない。
- 問** 粗大ごみを収集場所まで運ぶのが大変な人がいる。予約制の戸別収集もできないか。
- 答** 前橋市・高崎市・太田市が実施しており、他市町村の事例などを調査して、実施について検討したい。



おおい しゅんいち
大井 俊一 議員



録画映像は
こちらをCHECK

オピニオンリーダーを増やす施策は

答 表彰制度を検討

問 動物愛護・管理について、※オピニオンリーダーを増やす施策を町はどう考えているか。

答 以前の定例会で表彰制度の提案をいただいたが、表彰制度は、犬を飼っていない人や周辺住民の意向も配慮する必要があると考える。犬を飼っている人と飼っていない人、双方の立場がお互い納得できるように表彰制度として実施できるように、検討していきたい。

問 「群馬県動物の愛護及び管理に関する条例」が改正され、令和6年10月1日から施行された。今後の町の対応は。

答 飼い主への努力義務が規定されたことから、広報9月号に条例改正について掲載し、周知を図っている。

ふるさと祭りアンケートはイベント参加者には未実施

問 よしおかふるさと祭りについて、閉会後にイベント参加者と出店者にアンケートを実施をしているのか。

答 関係団体向けに毎年実施している。本年度は今後実施を予定。イベント参加者へのアンケートは実施していない。

問 令和6年のよしおかふるさと祭りに、さまざまな関係者から問題点を指摘されている。改善についての考えは。

答 多くの人に「楽しかった」と思ってもらえるよう、今後も心がけていきたい。



多くの人が楽しかったと思えるイベントに

問 よしおかふるさと祭り関係者の昼食は町外業者のお弁当だが、出店飲食店で使用できる食事券に変更してはどうか。

答 提案については、出店飲食店も、関係者にとっても、いわゆるウインウィンなものなのではと考える。検討していくことは多いが、貴重なご意見として受け止め、検討課題とし、今後議論をしていきたい。

問 消防団員の不足の現状と問題点は。

答 定数128人に対して、令和6年4月1日現在で74人の団員数であり、充足率57・8%と危機的状況。近年転入者が多いが、仕事や価値観の多様化などもあり、直接団員数の増加に結びついていないのが現状。

問 機能別団員（広報など補う団員）導入の将来的な展望は。

答 普段の訓練や行事に参加は求めず、火災や災害発生時のみ、現団員をサポートするような活動を想定。今後協議・検討したい。



女性消防団員の増加にも期待したい

ミニ解説

※オピニオンリーダー
特定の分野や集団において、周囲の意見や行動に大きな影響を与える人物。

町の最終処分場の基本方針は



ひろしま たかし
廣嶋 隆 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 明文化したものはない



令和6年11月に実施した地質調査
(最終処分場建設予定地)

答

地域理解の促進および
廃棄物などの適正処理

問 渋川広域次期最終処分場建設は、令和6年4月から測量・地質調査が始まり、令和6年度内には基本計画が策定される。完成まで残り5年だが、最終処分場の基本方針について、町の考えは。

答 最新の技術を導入、地域の安全の確保をしていくものと考えている。

問 町はどのような最終処分場にしたいのか。

答 周辺地域の人々の生活環境や自然環境の保全を最優先。ハード面・ソフト面ともに安全・安心な施設とし、ごみの減量化・リサイクルの促進による環境負荷の軽減などの啓発、環境教育ができる施設にもしていきたい。

問 私は具体的な答えを求めている。例えば、大人になってからごみを減らしましょうと言っても、効果は上がらない。小学生の見学の場として、ごみ減量

の推進を図り、周辺地域の生活環境の保全および周辺の施設について適正な配慮を図るという基本方針だが、明文化したものはない。

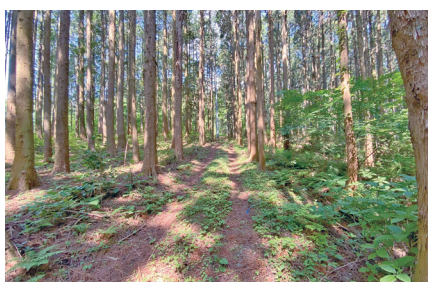
問 新しくできる施設・建物についての基本方針は。

答 小学4年生の社会科では、「住みよいくらしをつくる」という単元の学習がある。廃棄物がどのように処理されて、私たちの生活が衛生的に営んでいけるかという学習をしている。提案のような最終処分場になれば、こんなに身近にごみの処理が分かり、最終的にごみがこのようになると分かる学習の場として良いものになると思う。

進入路の道路整備は
渋川広域組合が実施

問 最終処分場の施設については、循環型社会形成推進交付金事業で行うが、進入路に関しては、交付金は対象外である。そこで、進入路である町道を改良・拡幅して整備する場合、道路管理者である町

化に対する学習をする施設とする考えについて、教育長の見解は。



進入路は渋川広域組合が整備を実施する
(町道 1149 号線)

が主体となって道路整備を行うのか。

答 最終処分場建設に伴う進入路の整備に関して、渋川広域組合が事業主体となり、道路整備を実施する。

問 町の費用負担金はゼロなのか。

答 負担金として町も納付する。

問 負担比率については。

答 従来の負担割合を適用し、搬入量割・均等割が使われ、概算で町の負担は20%ほどになると考える。



はるやま かずひさ
春山 和久 議員



録画映像は
こちらをCHECK

天神東公園 どう進めるか

答 立地条件を生かし、魅力を高める

問 天神東公園は基本計画を策定することになり、道の駅と一体となった整備に期待。町としてはどのような形で整備を進めるのか。

答 道の駅よしおか温泉と隣接している立地条件を生かし、道の駅と一体的な公園として位置付け、魅力を高め、集客と売り上げ増に貢献するよう検討中。

問 リバートピア吉岡は、町民以外の利用が多いと耳にする。その場合、温泉に多額の経費を投じる必要があるのか町民から疑問

が出て当然。利用者の分析はしているのか。

答 令和6年9月の料金改定の際、回数券では町民かつ65歳以上の人を対象に、安価な料金設定を行った。回数券の9月の売り上げ状況は、30%が町民、70%が町民以外。現在、町民・町民以外を把握するすべはない。リバートピア吉岡は、住民の福祉向上や健康増進の側面、また収益の確保、これには観光施設として外貨の獲得も考えられ、双方のバランスを図り投資は必要。



真に町民の憩いの場になるよう期待
(天神東公園)

産業団地事業の今後は

答 2月頃関係者説明会を予定



とみおか えいいち
富岡 栄一 議員



録画映像は
こちらをCHECK

問 産業団地事業の今後のスケジュールは。

答 令和7年2月頃に第3回関係者説明会で道路・公園・調整池の位置などの基本計画を示したい。試掘調査は同意が得られた土地から調査をしていく。

問 令和6年7月に行われたアンケート結果から事業区域(案)に変更はあったか。

答 関係者人数は変わらず、面積約20ヘクタールを予定。

問 都市計画道路宮田大敷線の未着手部分の今後は。

答 関係者人数は変わらず、面積約20ヘクタールを予定。



毎週水曜日に収集を行えるよう調整中

答 大敷交差点東の未着手部分の危険地点は路面表示を検討。

問 老人福祉センターで、高齢者と子どもに触れ合いの場所としての子育て支援はできないか。

答 指定管理者と相談の上、事業の可能性を考えたい。

問 プラスチック類のごみ収集回数は増やせないか。

答 令和7年4月より毎週水曜日にプラスチック類のごみ収集を行えるよう調整中。

駒寄川河川改修の 内容と工期は



いづか けんじ
飯塚 憲治 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 護岸工事を令和8年度に着手予定



護岸工事が計画された駒寄川の現況

問 駒寄川下流域の河川改修の内容と工期は。
答 未整備部分にブロック積み護岸を設置。令和6年12月から測量調査、7年度に設計、8年度に工事着手予定。

問 上野原と漆原両地区の出水対策の完了時期は。
答 上野原地区は令和6年中に完了。漆原地区の

問 溝祭地区から駒寄地区にかけての全体的な地域排水計画の進捗状況は。
答 当該地域の排水対策は、広範囲であることから、多額の費用が見込まれる。本年度は、側溝・集水升の改修を行い、排水が集中するエリアを分散する工事を2カ所実施する予定。なお、全体的な地域排水計画は予定していない。それに伴い、雨水排水調査も見直して、2カ所施工後の状況把握をしていくこととした。

問 吉岡バイパス延伸の計画は。
答 次期県土整備プランに位置付けられた

問 県道前橋伊香保線吉岡バイパスの宮東交差点から先の延伸計画はどのようなものか。
答 宮東交差点から北方向に1・3キロメートル

問 川久保踏切付近から上野田交差点までの建設は、その効果が大きく問われるが。
答 今後の1・3キロメートル延伸事業の進捗状況を見ながら、引き続き建設要望を行う。

問 業務執行スピードの向上策は。
答 事務の専門性に対応した人材が必要

問 人口の減少は税収の減少に連動。本町の人口減少は10年ほど先に迫っている。将来のための諸施策実行のタイムリミットが近づいている。業務執行スピードの向上が必要では。
答 行政の執行スピード向上に必要なのは、意思決定の迅速化と考える。それには事務の専門性に対応した人材の確保が必要。実現に向けて議論を進める。

問 過去5年間、業務の進捗が遅いのはなぜか。それは人的パワーの不足ではないのか。本町は将来のために、準備を加速しなければならぬ重要な時期。インフラ整備・将来への諸計画策定業務などの担当部署を見直し強化する考えは。
答 現組織体制でも、各課連携を取りつつ柔軟な対応をしている。課・局などの枠組みにとらわれず、十分対応可能と考える。今後は限られた人材と財源の中でインフラ整備を進めていく。



宮東交差点から北へ1.3キロメートルが着手する事業に位置付けられた



さ か た かずひろ
坂田 一広 議員



録画映像は
こちらをCHECK

町の高齢者福祉の課題は

答 積極的・自発的な施策の実現

問 令和6年度から、高齢者保健福祉計画および第9期介護保険事業計画が新たに始まった。高齢者福祉の現状と課題についてどのように考えるか。

答 高齢化率の低さは県内トップクラス。今後の課題として、地域で支え合い、住民が相互に助け合う地域共生社会のまちづくりをどのように進めていくかは、比較的若い世代の高齢者が多い町の強みをどこまで生かせるかにあると感じる。高齢者自らが支える側となれるような、積極的・自発的な施策が実現できるかが今後の課題。

問 高齢者虐待防止法が施行されて18年経過。全国的には相談・通報件数、虐待判断数ともに高止まりの状況が続いているが。

答 町内では、令和5年度は通報1件、虐待判断が1件。本年度は今のところ通報はない。

問 高齢者虐待の早期発見・早期対応の観点から、関係団体や民間団体との協力体制が求められるが。

答 なるべく早い段階で高齢者への適切な支援に結びつけられるようなネットワークづくりを構築したい。

問 認知症高齢者は、令和7年には65歳以上の5人に1人が達するとされている。※チームオレンジの取り組みは欠かせないと考えるが。

答 現在は、「元気になるカフェ」といった移動カフェなどで活動。

問 老人クラブは、高齢者福祉や地域コミュニティ



移動カフェ「TEKU TEKU」

イの活性化など大きな役割が期待されるが、このところ、衰退傾向にある。補助金を増やせないか。

答 地域貢献やレクリエーション活動で介護予防・健康づくりのための活動が行われるような実態・実績が報告されるようになれば、そういったものに対する補助金について、今後、検討したい。

公共施設のバリアフリー化は

段階的に進めたい

問 公共施設のバリアフリー化が進んでいないが。

答 多額の経費が必要になるので、段階的に整備を進めていきたい。

問 高齢者などの安価な移動手段として、デマンドバスの検討は。

答 都市計画マスタープランの改定に併せ、公共交通マスタープランを改定。まちづくりと移動手段が一体となった都市計画マスタープランを策定予定。町にとって最適な移動手段の確保について検討予定。



デマンドバス運用の検討を

ミニ解説

※チームオレンジ
ステップアップ研修を受けた近隣の認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対する生活面の早期からの支援などを行う取り組み。

学校給食で地産地消を



こいけ はるお
小池 春雄 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 非常に重要な課題と考えている



食べていける農業の確立を

問

学校給食の地産地消について、日本の食料自給率は38%の現在、基礎自治体としての取り組みべき施策は安心安全の食料生産と消費である。全国では、学校給食の地産地消が進んでいる。農家・農協・吉岡町振興公社などを含め、吉岡町で食べていける農業の

答

確立と、安心安全な学校給食の食材提供を、大幅に取り入れていくための手だてを講じていくべきと思うが。

安心安全の食料生産と消費、学校給食での地産地消、食べていける農業の確立、これは自治体としての非常に重要な課題と考えている。特に、食べていける農業の確立は、吉岡町の差し迫った課題と考えている。

食べていける農業の確立には、政策の不足などがあり、これらが農業を続ける、また参入する上での課題と考えている。食べていける農業を目指した政策に取り組んでいきたいと考える。

町内で生産された安全な米や野菜を給食で利用する地産地消のシステムを学校給食に取り入れることには多くのメリットがあると考えている。町の豊かな自然や文化、産業への視野を広げることができ、生産者へ

問

の感謝の気持ちや持続可能な社会の実現という視点も育てられ、食材の輸送距離が短くなり、CO₂を削減し、環境への負荷を軽減する利点を子どもたちが実感できると考えている。

学校給食は学校給食法で定められていて、教育活動の一環であると基本理念を明らかにしている。国および地方公共団体は給食の普及と健全な発展を図るように努めなければならないとあり、また、学校給食は地産地消、農産物を活用されるよう定められている。これらを実現するため、教育委員会として町に言うていくべきだと思うが。

答

行政への働きかけはこれまで弱かったと認識している。新たな給食センターの建設に向け、地産地消の推進を積極的に働きかけたい。

食の安全と農業者育成を

期待感をもって臨みたい

問

千葉県いすみ市では学校給食に使う米を1俵2万3千円、京都府亀岡市では1俵3万6千円で生産者と契約し、「農業者保護は消費者保護」の考えでオーガニック栽培を支援している。吉岡町でも食の安全と農業者育成のために補助金などを活用し、進めていくべきだが。

答

若い世代の農業支援・食の安全などに期待感を持って臨んでいきたいと考える。



学校給食で吉岡町産の米の使用を
(令和6年度吉岡町産コシヒカリ)

#

祝 吉岡中吹奏楽部西関東大会進出 クラウドファンディング195万円に

令和6年10月9日から令和7年1月6日までの期間で、ふるさと納税型クラウドファンディング「部活動に専念できる環境づくりのために！“新しい楽器”の整備を！」の寄付募集を行い、195万2千円の寄付が集まりました。寄付金については、本年度購入したB♭チューバの費用と吹奏楽部の部活動に関わる環境整備や活動費用に充てられます。

たくさんの人にご協力いただき、ありがとうございました。本プロジェクトでいただいた寄付で、生徒の笑顔、そして演奏を聴いてくださる人々の笑顔と感動につながるよう、これからも生徒とともに素晴らしい演奏を皆さまにお届けできるよう頑張っていきます。（吉岡中学校 吹奏楽部 顧問 小暮 真哉）



令和6年12月4日、議会定例会に吉岡中吹奏楽部が表敬訪問され、アンサンブルコンテスト出場者による演奏会が開催されました。同年12月14日に行われた県大会で金賞を受賞され、令和7年1月25日に山梨県で開催される西関東大会に2チームが出場されます。今後のご活躍も期待しております。



▲演奏の様子はこちら

皆さんの傍聴を お待ちしております

次の議会は3月上旬を予定しています。会議は9時30分から始まります。詳しい日程などは広報よしおか2月号に掲載されます。また、町ホームページでもお知らせします。

編集後記

カラー化に伴い誌面を大幅にリニューアルしてから、今回で3回目の発行となります。ありがたいことに、「前よりずいぶん良くなった」と、多くの皆さまからお声を頂いています。今後も読みやすく、分かりやすく、そして身近に感じていただける「あなたのギカイだより」となるよう、さらにブラッシュアップを重ねていきたいと思っています。（富岡 大志）

議会広報常任委員会

委員長	富岡 大志
副委員長	藤多ゆかり
委員	富岡 栄一 宮内 正晴
	大井 俊一 春山 和久
	山崎 守人

発行	吉岡町議会
責任者	議長 廣嶋 隆
住所	群馬県北群馬郡吉岡町大字 下野田560
TEL	0279-54-3111